

令和7年度 三次市立塩町中学校 教育研究推進計画

No.	項目	内 容
1	研究主題	主体的に学び、他者と協働的に課題を解決する生徒の育成 － RST の視点に基づいた授業改善を通して － ※RST:リーディングスキルテスト
2	研究の背景	令和3～5年度の3年間は、主体的に学ぶ生徒を育成するために、「河川教育」を軸に「生徒の深い学びを実現するため、総合的な学習の時間のカリキュラム・マネジメントや授業改善に取り組んできた。 令和6年度より、三次市読解力向上事業の指定を受け、RST（リーディングスキルテスト）の視点に基づき、各教科での読解力の分析、ワークシートや発問の工夫等を通して授業改善を図っているところである。
3	研究内容	(1) 広島県では昨年に続き、「学びの変革」の“深化”全ての学校における自律的・組織的なカリキュラム・マネジメントの確立－の取組をもとに授業改善、授業力の向上を目指すことから、研究授業を中核とした授業改善サイクルの確立を研究部中心に進める。 (2) これまでの取組や令和7年度の研究の方向性を示すため、新たに赴任した教職員も含めて全体研修を行い、令和7年度の方向性や育成したい生徒の姿の共通認識をもつ。 (3) RST についての理論研修を行う。 (4) RST に基づく授業改善を各教科で進め、「読む力（基礎的・汎用的読解力）」の育成や学力向上を目指す。 (5) 毎週金曜日朝は帯学習として視写を実施する。 (6) 各教科の授業や塩中タイムで「振り返り」を行い、学習や行事を通して、学習内容の理解度や思考の変化などを生徒に捉えさせる。 (7) 生徒を対象とした「学校生活」、「学習の振り返り」に関するアンケートや各種学力調査から、現状把握や課題分析を行い、校内研修で協議し、取組に生かす。
4	検証方法	(1) RST の達成率 (2) 三次市学力到達度検査の経年比較 (3) 各種学力検査での平均正答率（特に、文章や資料・図形などの読み取り問題の正答率） (4) 授業や塩中タイムで振り返りを具体的に書かせ、生徒の理解度や思考の変容を見取る。 (5) 学校生活アンケート・学習アンケート（7月、12月、2月）の結果
5	期待される成果	・RST の数値的成果（※1 回目の RST の結果を受けて検討） ・家庭学習ができるようになり、学習習慣が定着する。（主体的に学ぶようになる。） ・学習集団において、協働的な学習の充実・学ぶ意欲の向上 ・全国学力・学習状況調査での数値的成果（各教科:全国平均 +5.0 以上） ・三次市学力到達度検査での数値的成果（各教科:三次市平均 +5.0 以上）

